

# 有題 無題

## 公益資本主義の行方

「すべての国民が、天寿を全うする直前まで健康であり続けられる世界最初の国になる」という前示した構想は、寿命を人為的に延ばし不老長寿にすることが目的ではない。命ある限り元気に活動し、最後のひと月に枯れるような状態で多くの国民が生涯を終えられる社会創造を意味する。2050年までに実現し、世界が憧れる国にしたいものだ。

これを実現するための3条件のうち、今回はテクノロジー・イノベーションについて解説したい。天寿を全うするには、けがや病気を治療回復できる医学分野の技術開発だけでは不十分。ヘルスケアに特化したIoT(モノのインターネット)や情報通信、人工

## 内閣府参与 原丈人

# 技術革新で健康長寿社会実現

知能(AI)、食品、素材、化学分野を含めた横断的かつ俯瞰的な技術を

理念に賛同した製薬や化学、医療機器、精密機械、不動産などの大手が

つながるはずだ。例えば食べれば食べるほど健康になる食品、見れば見るほど視力が良くなるスクリーン、乗れば乗るほど元気になる自動車、吸えば吸うほど免疫力を高められるたばこ

世界を視野に入れて情報を選別し、素早い意思決定で方向性を提示。無から有をつくるというプロセスを具現化することが必要になる。

さらなる変革を促すためには、理念を共にする異分野の事業会社を迎えたい。電力や鉄道、金融機関など多くの顧客を地域に抱える公益企業に

重要なのが国の関与である。事業は民間主導でありながらも、国が明確なビジョンを示し、速やかに国家目標を定めることが必要だ。国には大きな役割がある。それが制度イノベーションで

ここで私は、デフタヘルスケアテクノロジー・イノベーション(DHCT)という技術開発会社を立ち上げた。手探りの技術開発のため

いずれの企業も、病いやけがをした人を健康にするエコシステムとして必要な世界最高技術のパイオニア。今では事業

ば新たな付加価値創造に加を求め、各分野に精通した製造業と連携させれば新たな付加価値創造

ある。事業は民間主導でありながらも、国が明確なビジョンを示し、速やかに国家目標を定めることが必要だ。国には大きな役割がある。それが制度イノベーションで



原丈人は、27歳から創業し、2017年まで中米タラシヤのCEOを務めた。現在は、民間企業に在籍し、AI・IoTの技術開発に専念している。2017年、ヘルスケアテクノロジー・イノベーション(DHCT)を創業し、現在は同社のCEOを務めている。

詳しく記す。